

檜山広域行政組合消防本部救急出動状況（概要）

【平成20年～23年】

◎資料

- 資料1 構成町別救急出動件数
- 資料2 出動種別件数
- 資料3 病院別搬送人員
- 資料4 年齢別搬送人員
- 資料5 傷病別搬送人員
- 資料6 時間帯別出動件数
- 資料7 転院搬送件数
- 資料8 病種別転院搬送件数
- 資料9 救急隊員が行った応急処置種別

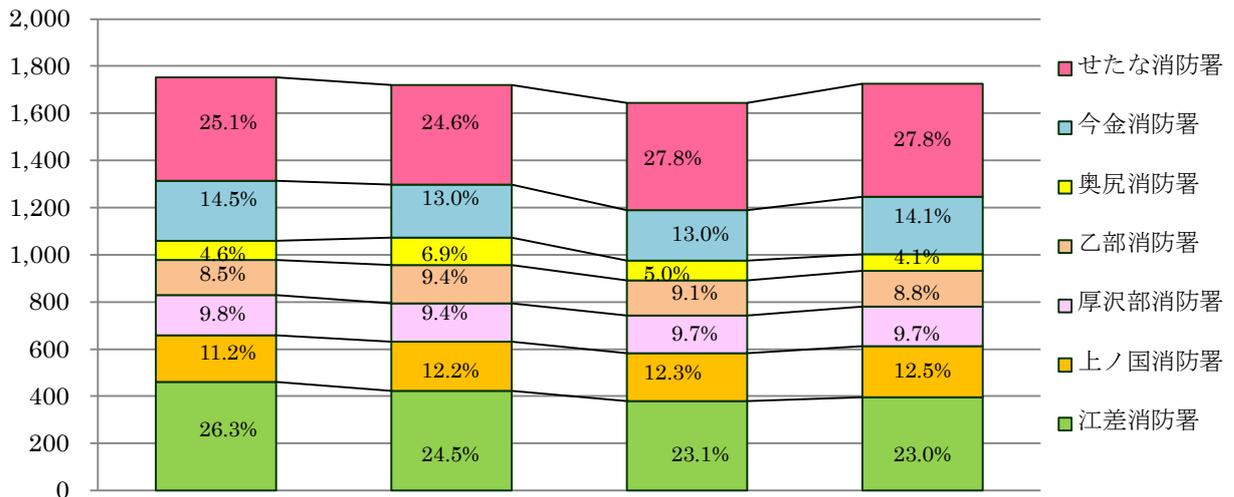
◎消防本部概要（平成24年5月1日）

	消防職員	救急救命士	消防車両	救急車
全 体	153名	35名	31台	12台（高4・仕3）
江差消防署	22名	5名	5台	2台（高1）
上ノ国消防署	18名	4名	3台	1台（高1）
厚沢部消防署	16名	5名	3台	1台（仕1）
乙部消防署	16名	0名	3台	1台
奥尻消防署	17名	4名	3台	1台（仕1）
今金消防署	20名	8名	4台	2台（高1）
せたな消防署	41名	9名	9台	4台（高1・仕1）
消防本部	4名			

※（ ）台数は内数・高：高規格救急車 仕：高規格仕様救急車

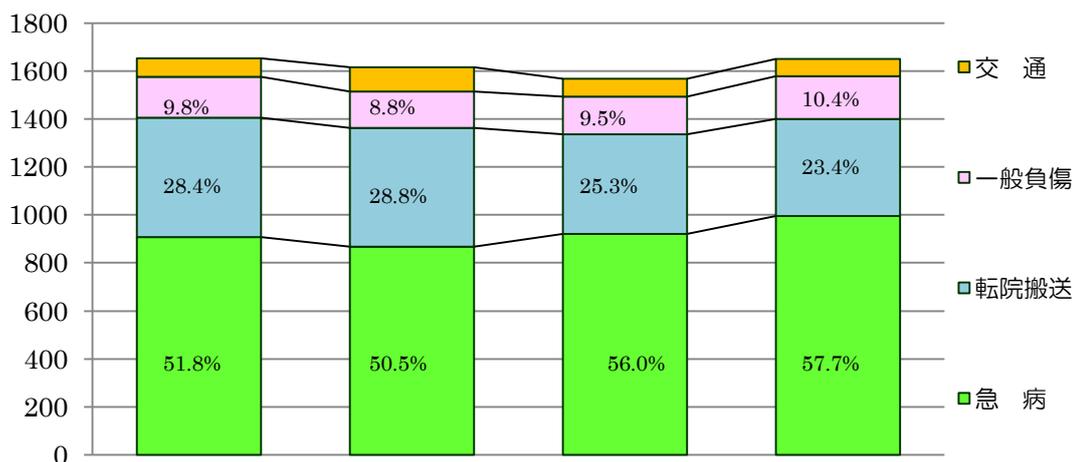
檜山広域行政組合消防本部

資料1 構成町別救急出動件数



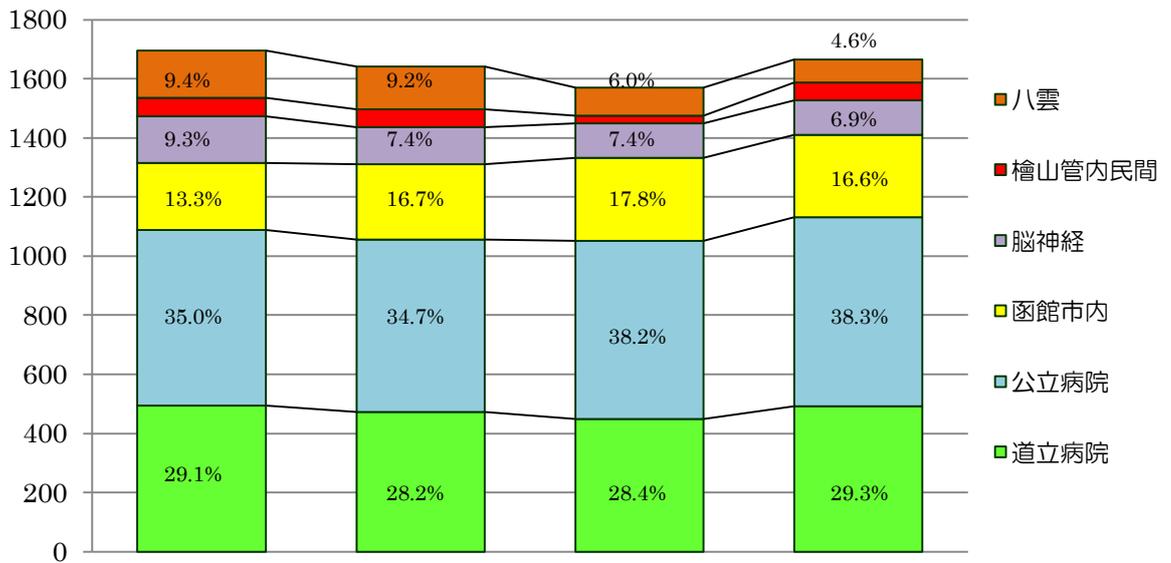
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~23/年平均
江差消防署	461	422	380	397	1,660/415
上ノ国消防署	197	210	202	215	824/206
厚沢部消防署	171	161	160	168	660/165
乙部消防署	149	162	150	151	612/153
奥尻消防署	81	119	82	71	353/88
今金消防署	254	223	214	243	934/233
せたな消防署	439	423	457	480	1,799/449
合計(件)	1,752	1,720	1,645	1,725	6,842/1,711

資料2 出動種別件数



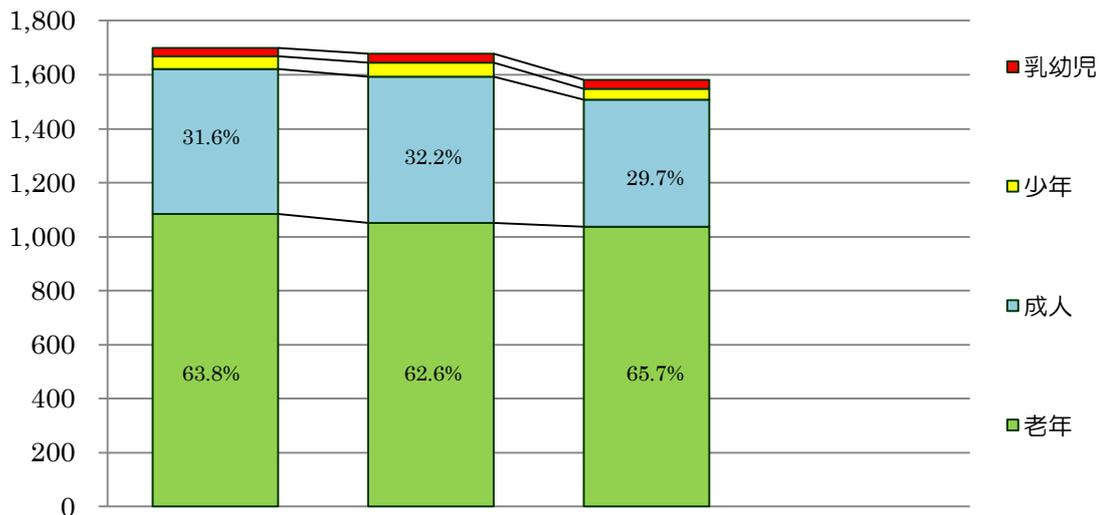
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~23/年平均
急病	908	868	921	995	3,692/923
転院搬送	497	495	416	404	1,812/453
一般負傷	172	151	157	180	660/165
交通	76	101	74	72	323/81
自損	26	16	20	14	76/19
火災	3	7	4	1	15/4
その他	70	82	53	59	264/66
合計(件)	1,752	1,720	1,645	1,725	6,842/1,711

資料3 病院別搬送人員



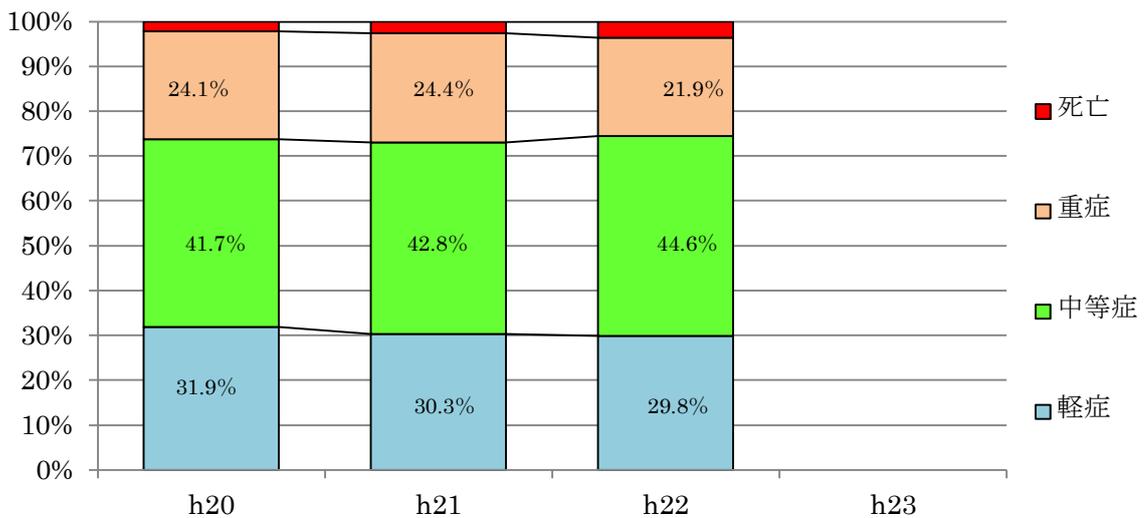
	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~23 /年平均
道立病院	494	473	449	491	1,907/477
公立病院	595	583	603	641	2,422/606
函館市内	226	280	281	278	1,065/267
脳神経	158	124	117	116	515/129
檜山管内民間	63	61	26	62	212/53
八雲	160	155	94	77	486/122
道央圏	4	3	10	9	26/7
合計(人)	1,700	1,679	1,580	1,674	6,633/1,659

資料4 年齢別搬送人員



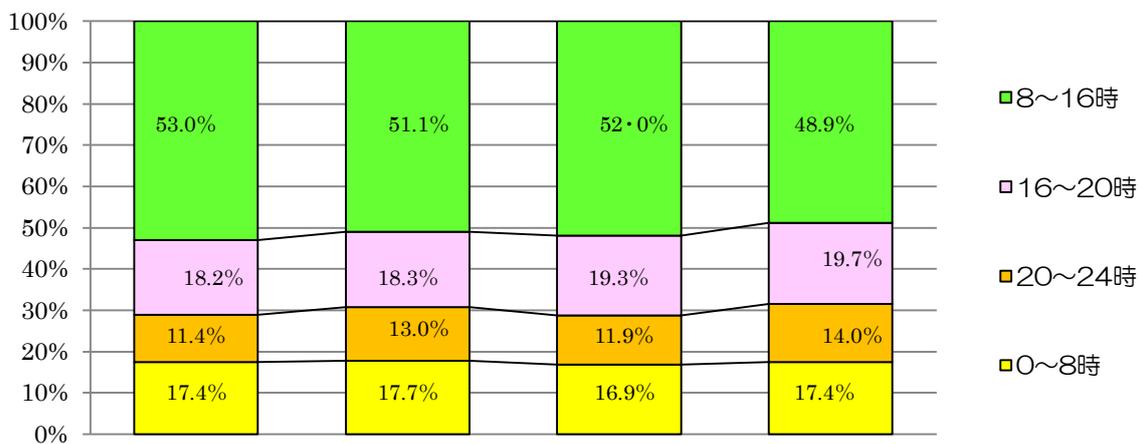
	平成20年	平成21年	平成22年	20~22 /年平均
老年	1,084	1,051	1,038	3,173/1,058
成人	538	541	469	1,548/516
少年	47	53	42	142/48
乳幼児	31	33	31	95/32
新生児	0	1	0	1/0.4
合計(人)	1,700	1,679	1,580	4,959/1,653

資料5 傷病別搬送人員



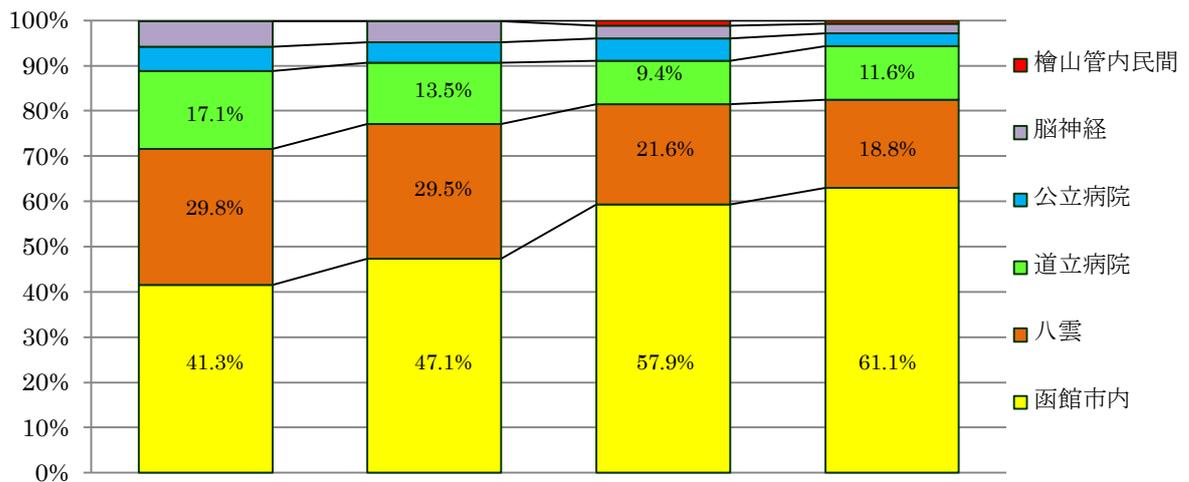
	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	20~22 /年平均
軽 症	542	508	471	1,521/507
中等症	709	718	705	2,132/711
重 症	410	409	346	1,165/389
死 亡	37	44	57	138/46
その他	2	0	1	3/1
合 計(人)	1,700	1,679	1,580	4,959/1,653

資料6 時間帯別出動件数



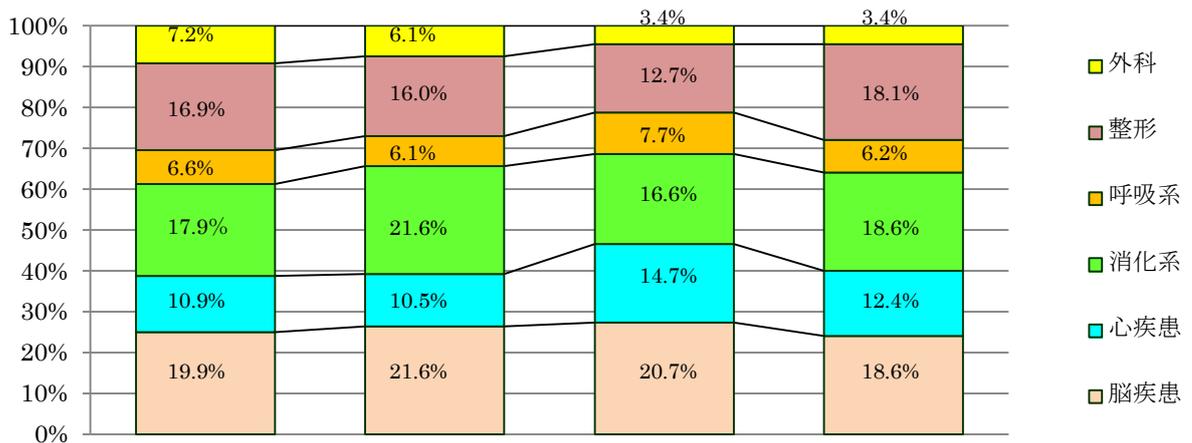
	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	20~23 /年平均
8~12時	515	512	459	510	1,996/499
12~16時	413	366	396	333	1,508/377
16~20時	318	314	318	339	1,289/323
20~24時	200	223	195	242	860/215
0~4時	127	128	85	125	465/117
4~8時	179	177	192	176	724/181
合 計(件)	1,752	1,720	1,645	1,725	6,842/1,711

資料7 転院搬送件数



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~23 /年平均
函館市内	205	233	241	247	926/232
八雲	148	146	90	76	460/115
道立病院	85	67	39	47	238/60
公立病院	26	22	20	14	82/21
脳神経	28	23	11	8	70/18
檜山管内民間	1	1	5	3	10/3
道央圏	4	3	10	9	26/7
合計(件)	497	495	416	404	1,812/453

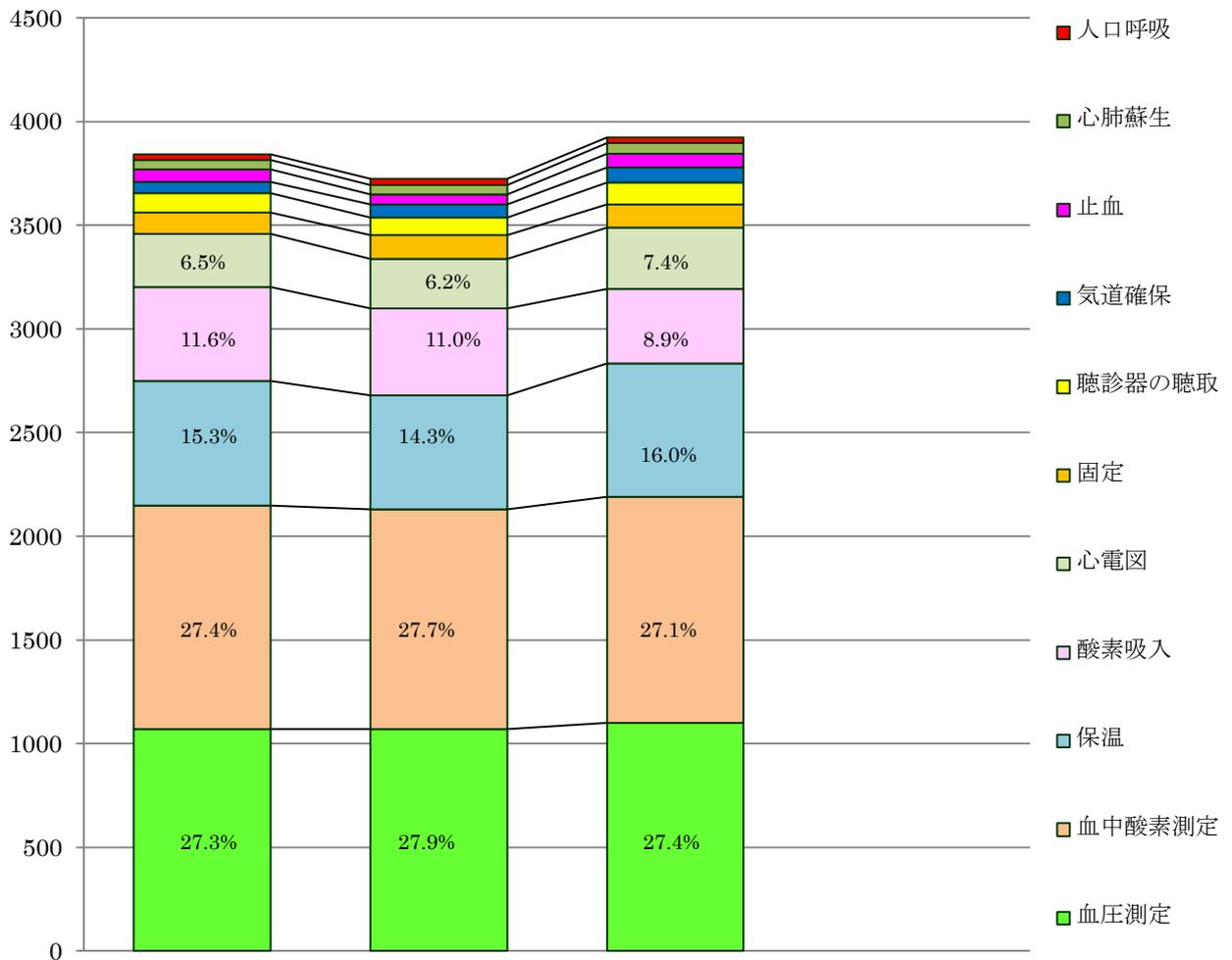
資料8 病種別転院搬送件数



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~23 /年平均
脳疾患	99	107	86	75	367/92
心疾患	54	52	61	50	217/55
消化系	89	107	69	75	340/85
呼吸系	33	30	32	25	120/30
整形	84	79	53	73	289/73
外科	36	30	14	14	94/24
婦人科	3	1	6	6	16/4
循環系	19	12	13	5	49/13

その他	80	77	82	81	320/80
合計(件)	497	495	416	404	1,812/453

資料9 救急隊員が行った応急処置種別



	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	20~22 /年平均
血圧測定	1,071	1,069	1,101		3,241/1,081
血中酸素測定	1,078	1,061	1,090		3,229/1,077
保温	600	549	643		1,792/598
酸素吸入	454	422	358		1,234/412
心電図	256	236	298		790/198
固定	103	116	111		330/110
聴診器の聴取	94	83	106		283/95
気道確保	54	66	72		192/64
止血	59	46	51		156/52
心肺蘇生	46	46	51		143/48
人口呼吸	26	30	25		81/27
A E D	8	9	8		25/9
輸液	1	0	4		5/2
薬剤投与	0	0	2		2/0.7
心マッサージ	0	5	2		7/3
被覆	31	24	26		81/27
その他	22	43	29		94/32
合計	3,929	3,835	4,019		11,783/3,928

●救急出動件数

管内の平成 20 年～23 年の救急出動件数は 6,842 件となっている。年間 1,700 件、1 日 4.6 回の出動となっている。署別では、せたな署 1,799 件、江差署 1,660 件と全体の 5 割を占めている。

●種別件数

出動件数の 20～23 年の合計は 6,842 件となっており、内訳別では、急病が 3,692 件と 54%を占め、一般負傷、交通事故（980 件）と合わせると、68%となっている。

又、病院間の搬送である、転院搬送は 1,812 件と全体の 1/4 を占めている。

●病院別搬送人員

救急出動において実際に病院に搬送した人員の合計は 6,633 人、年平均 1,658 人となっている。

病院別にみると、道立病院が 1,907 人・29%、公立病院（八雲含）が 2,908 人・44%と全体の 73%を占める。函館市内が 1,065 人・16%となっているが転院搬送が 9 割を占めている。

●年齢別搬送人員

20～22 年の搬送人員は 4,959 人となっており、老年層が 3,173 人・64%、成人層が 1,548 人・31%と全体の 95%を占めている。

●傷病別搬送人員

傷病別では、症状が重い中等症・重症者が 3,653 人、死亡を含めると 3,435 人と全体の 70%となる。

●時間帯別出動件数

時間帯別での出動件数では、日中帯（8～16 時）が 3,504 件・51%、夕刻帯（16～20 時）は 1,289 件・19%と全体の 70%を占める。深夜、早朝帯（0～8 時）も 1,189 件・17%となっている。

●転院搬送件数

病院間の搬送件数は 1,812 人と救急搬送件数全体の 25%を占めている。内訳では、函館市内への搬送が 926 件・51%と最も多く、次いで八雲病院の 460 件・25%となっている。公立病院から道立病院への搬送も 238 件・13%となっている。又、道央圏（札幌圏）にも 26 件となっている。

●転院搬送病種別件数

転院搬送での病種別搬送をみると、脳疾患・心疾患が 584 件・30%となっている。消化系、呼吸系、循環系で 509 件・29%と全体の 60%を占める。整形、外科が 383 件・21%となっており、整形の搬送が増加傾向にある。

●隊員が行った応急処置

救急搬送時における救急隊員が行った応急処置件数は、20～22 年の合計で 11,783 件となっている。

内訳別では、血圧測定、血中酸素測定が 6,470 件と全体の 55%を占める。酸素吸入が 1,234 件・10%、心電図 790 件・6.7%となっており、増加の傾向にある。又、救急救命士が行う特定行為である気管挿管、輸液、薬剤投与についても件数は少ないものの増加傾向にある。